

福井工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	歴史学特講	
科目基礎情報							
科目番号		0080		科目区分	一般 / 選択		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		電気電子工学科		対象学年	5		
開設期		後期		週時間数	2		
教科書/教材		適宜プリントを配布する					
担当教員		木村 美幸					
到達目標							
映像作品を歴史的背景を理解した上で批判的に鑑賞することができるようになる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		映像作品を歴史的背景を確実にふまえて、批判的に鑑賞することができる。		映像作品を歴史的背景をふまえて、批判的に鑑賞することができる。		映像作品を歴史的背景をふまえて、批判的に鑑賞することができない。	
評価項目2		歴史的な事象について、合理的かつ適切に説明することができる。		歴史的な事象について、適切に説明することができる。		歴史的な事象について、説明することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		大河ドラマに代表されるように、多くの歴史ものの映像作品が作成されている。本授業ではそうした映像作品を通じて、何が描かれて何が描かれなかったのかを検討する。このことによって、映像作品を批判的に鑑賞する姿勢を歴史学の観点から身につける					
授業の進め方・方法		レジュメを主として授業を展開する。授業前半では「この世界のさらにいくつもの片隅に」を題材に授業を展開し、後半では戦前の映画や受講生の希望する映画の検討も行う予定である。					
注意点		中間・期末レポートと授業ごとに提出の課題の内容から総合的に判断する また、授業で扱う映像作品は娯楽作品としての鑑賞はしない。また、授業ではいわゆる「ネタバレ」を含む内容となるため、娯楽作品として楽しみたい受講生は初回授業前の視聴を推奨する。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	この世界のさらにいくつもの片隅に ①呉と海軍		映画の舞台となる呉の歴史について理解し、説明することができる		
		3週	この世界のさらにいくつもの片隅に ②広島と軍隊		映画の舞台となる広島の歴史について理解し、説明することができる		
		4週	この世界のさらにいくつもの片隅に ③鬼いちゃんと戦場		アジア・太平洋戦争期の軍隊の仕組みについて理解し、説明することができる		
		5週	この世界のさらにいくつもの片隅に ④鬼いちゃんの帰還と慰霊		アジア・太平洋戦争期の軍隊の慰霊について理解し、説明することができる		
		6週	この世界のさらにいくつもの片隅に ⑤りんさんと呉		軍隊と遊郭の関係について理解し、説明することができる		
		7週	この世界のさらにいくつもの片隅に ⑥哲さんと海軍		海軍志願兵について理解し、説明することができる		
		8週	この世界のさらにいくつもの片隅に ⑦呉と空襲		空襲について理解し、説明することができる		
	4thQ	9週	この世界のさらにいくつもの片隅に ⑧孤児たちの戦後		戦争孤児について理解し、説明することができる		
		10週	ハワイ・マレー沖海戦 ①戦時下の日本と国策映画		戦時下における国策映画について理解し、説明できる		
		11週	ハワイ・マレー沖海戦 ②映画内容を考察する		ハワイ・マレー沖海戦を視聴し、その内容が当時どのように受け取られたかを考察することができる		
		12週	ハワイ・マレー沖海戦 ③映画製作の歴史的背景		ハワイ・マレー沖海戦がどのような歴史的背景から作成されたかを理解し、説明することができる		
		13週	リクエスト回①		受講生から希望があった映画を題材に、歴史的背景について理解し、説明できるようになる		
		14週	リクエスト回②		受講生から希望があった映画を題材に、歴史的背景について理解し、説明できるようになる		
		15週	歴史の伝え方		今までの授業の内容をふまえた上で、歴史を批判的に伝えるにはどのようにしたらいいか考え、説明することができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。		3	後12,後13

			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	後1,後9,後15
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	後1,後9,後15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題・レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0